



## 卒業を迎える三年生へ

校長 田山 満則

ふと、カレンダーを見ながら、卒業を間近にした皆さんが、あと何日登校するのだろうと数えました。

週休日を除くと、12日であることに気付き、「なんと早いことか」と改めて感じています。高校入試という関門を控えている皆さんです。時間のある時でよいので、目を通してください。



皆さんと出会って、早くも一年が経とうとしています。中学校の三年間は、心も体も見違えるほど成長する素晴らしい年月です。皆さんは、一生懸命学習に取り組み、仲間を大切にできる優しさを持ち、皆で協力しながら楽しく充実した学校生活を送りました。特に、この一年間は、目を見張る成長を遂げました。積み上げてきた学びと経験に自信を持ち、この三年間を大切な思い出として心に刻んでほしいと思います。

私が本校の卒業生であることは、常々お話した通りです。この学び舎の至るところに思い出が詰まっています。皆さんは、まだ、それほど実感はないと思いますが、歳を重ねるごとに、中学時代の思い出は、かけがえのないものとなっていくことでしょう。

卒業は、ゴールではありません。この三年間で身に付けた多くの実りを詰め込んで、新たな世界に羽ばたく節目の時なのです。残りの12日間で、力強いテイクオフの準備をお願いします。



そのために、学校生活の一瞬一瞬を大切に、全力で過ごしてほしいと思います。また、普段、意識をしない下足入れや廊下、教室の机やロッカーなどをじっと見つめ、「お別れなんだ」と思うと、感謝の気持ちが湧き上がってくるはずです。

「ありがとう」と心の中で語りかけながら、きれいに磨いてください。あなたの錦中学校の思い出が、一層輝くと思います。

何より、あなたを支えてくれた多くの人に感謝をしながら、12日間で過ごしてください。14人の同級生、担任の松本先生、下級生、先生方、給食調理員の方、地域の方、そして、家族……。



「感謝」は、心を豊かにして、あなたのさらなる成長を助けてくれます。

これから飛び立つ世界は、皆、様々です。急ぐことはありませんが、少し先を見据え、前を向いて進んでください。自分が選んだ道が最善の道なのかどうなのか、いや、選んだ道を最善の道にするかどうかは、あなた次第なのです。

3月10日の卒業式が、最高のテイクオフとなることを願っています。





# 全校百人一首大会を開催！

2月17日(木)の午後、恒例の百人一首大会を行いました。久しぶりに雪が積もる寒い日でしたが、大会は熱戦が続き、会場は大いに盛り上がりました。



## 2月半ばの雪景色

現在の天気予報の技術には、目を見張ります。先週末には、本日(2/17)、西日本でも積雪となる予報を発表していました。ズバリの中。早朝から、本校でも美しい雪景色が広がりました。

春夏秋冬、それぞれに見せる美しいやましろの自然環境に囲まれ、本校生徒は今年度の締めくくりをしています。そして、「希望の春」を心待ちにしています。



【総合文化部(制作)の作品】